

目次

- 1 物価高騰対策について
 - 2 当初予算案の概要**
 - 3 次年度の主な取組
 - 4 主な大規模事業の予定
 - 5 おわりに
- 【参考】これまでの取組

令和 8 年度予算案の概要



一般会計

1,818.0 億円

前年度比
16.6億円増
0.9%増

特別会計

1,265.5 億円

前年度比
0.9億円増
0.1%増

合 計

3,083.5 億円

前年度比
17.5 億円増
0.6%増

令和 8 年度一般財源歳入歳出見込み



【歳入見込】前年度比**29**億円増

主な増要素

市税 + 15億円

(個人市民税、宿泊税等の増加)

地方消費税交付金 + 11億円

(地方財政計画で示された増分を反映)

土地建物売払収入 + 1億円

(小中学校の旧タブレットの売払い)

一般寄附金 + 1億円

(ふるさと納税の増加)

【歳出見込】前年度比**25**億円増

主な増要素

給料及び諸手当 + 8億円

(退職者の増や給与改定に伴う給料等の増加)

減債基金積立金 + 7億円

(臨時財政対策債償還基金費分の積立により増加)

中央情報システム管理費 + 4億円

(ガバメントクラウド運用開始に伴う利用料の増加)

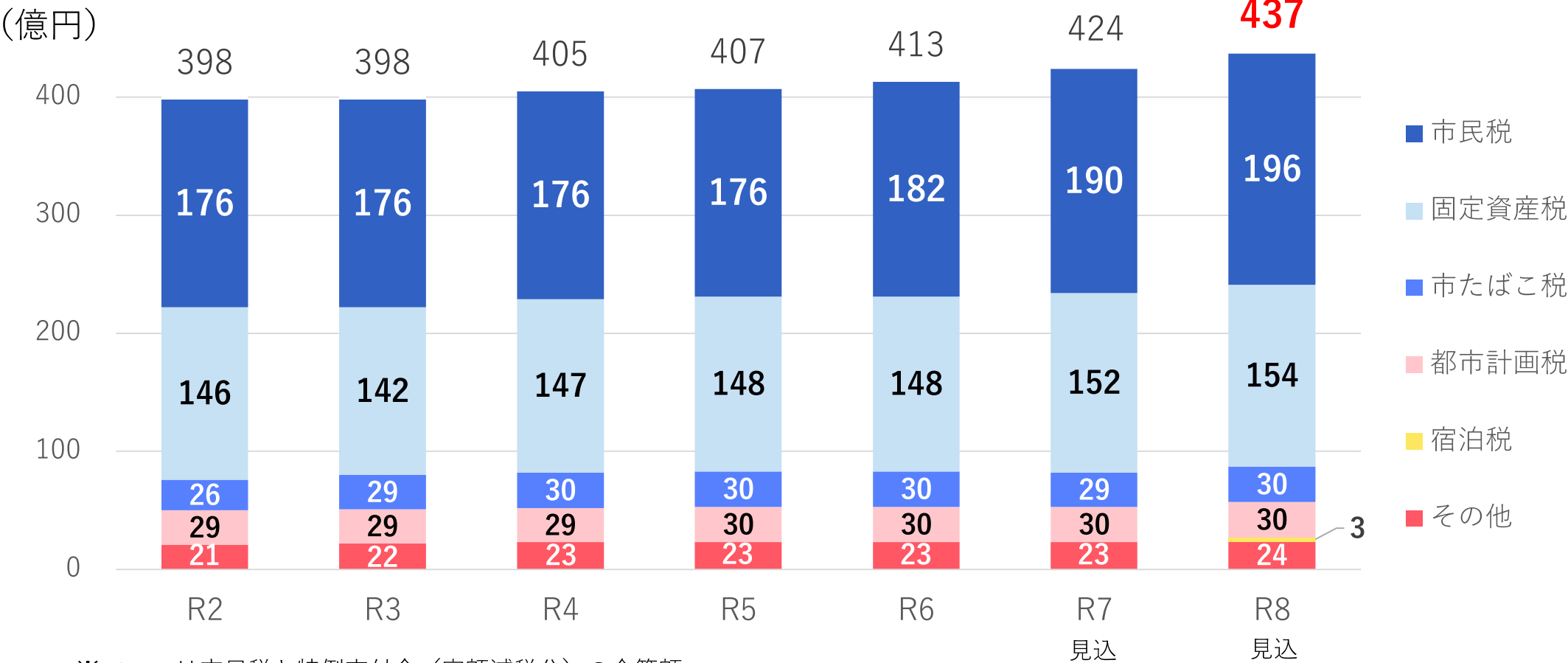
長期債利子及び一時借入金利子 + 4億円

(長期金利の上昇に伴う新発債の利子の増加)

市税収入の推移



市税は着実に**上昇**



※R6、R7は市民税と特例交付金（定額減税分）の合算額

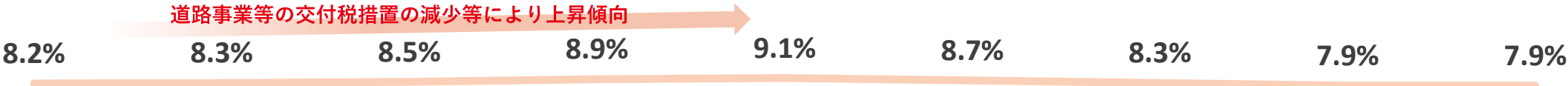
健全化判断比率の見通し

実質公債費比率
 =

$$\frac{\begin{matrix} \text{(地方債の元利償還金 + 準元利償還金)} - \\ \text{(特定財源 + 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)} \end{matrix}}{\begin{matrix} \text{標準財政規模} - \\ \text{(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)} \end{matrix}}$$
 (3 か年平均)

道路事業等の交付税措置の減少等により上昇傾向

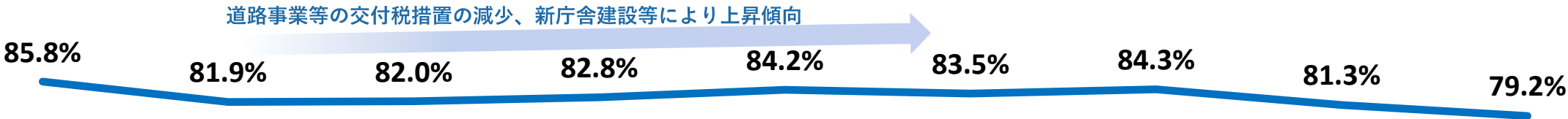
有利な財源（国費・市債など）を活用し
 未来への投資と持続可能な財政運営を両立



将来負担比率
 =

$$\frac{\begin{matrix} \text{将来負担額} - \text{(充当可能基金額 + 特定財源見込額 + 地方債現在高等に係る} \\ \text{基準財政需要額算入見込額)} \end{matrix}}{\begin{matrix} \text{標準財政規模} - \\ \text{(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入見込額)} \end{matrix}}$$

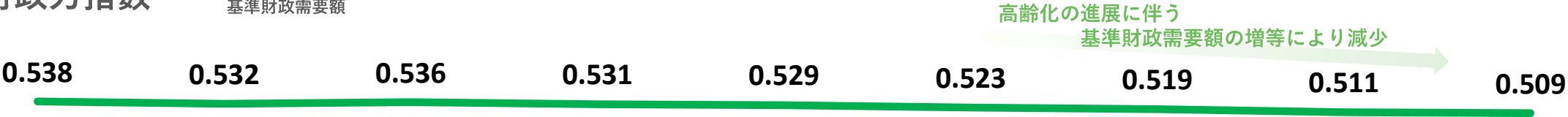
道路事業等の交付税措置の減少、新庁舎建設等により上昇傾向



財政力指数
 =

$$\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$$

高齢化の進展に伴う
 基準財政需要額の増等により減少



R2
 R3
 R4
 R5
 R6
 R7
 R8
 R9
 R10



令和7年度末残高見込

現時点で

70億円

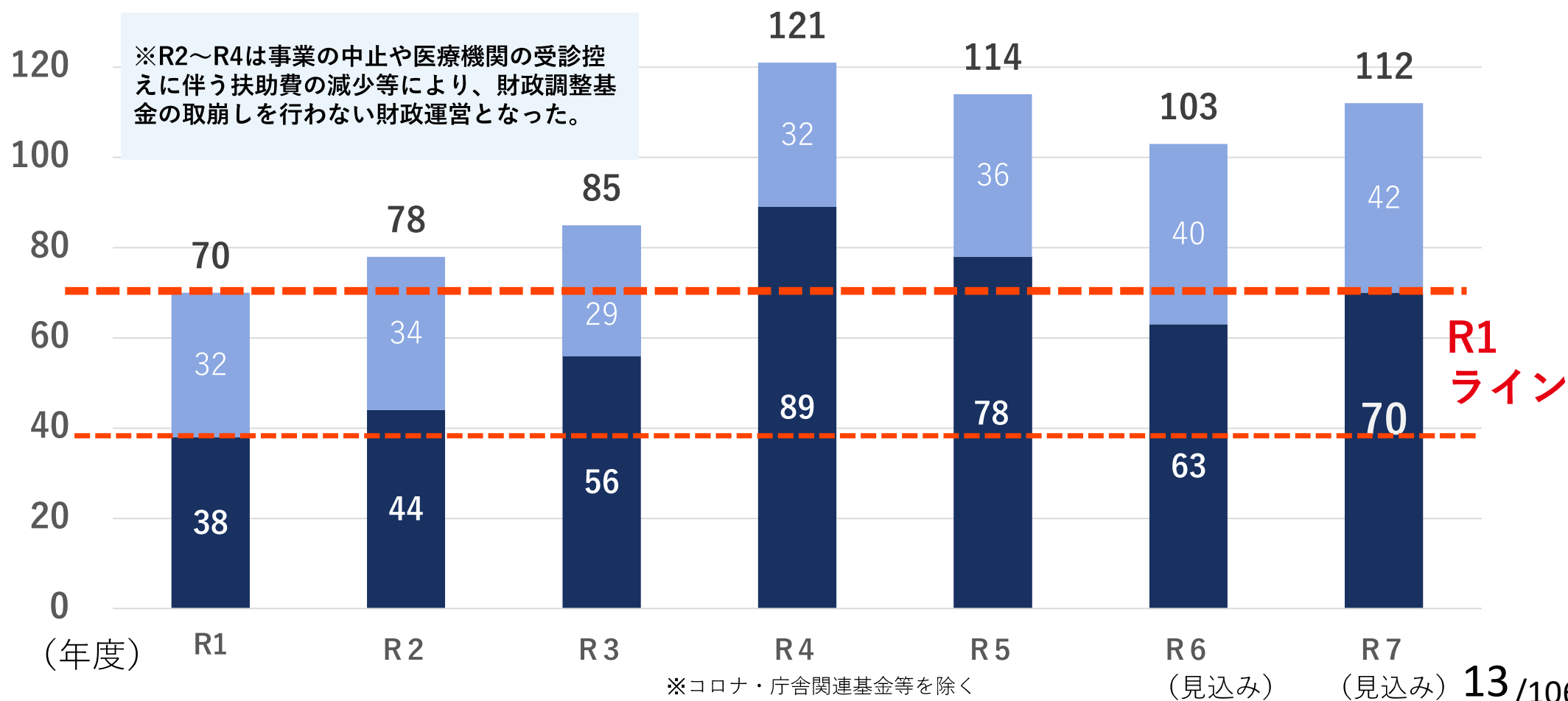
基金残高の推移

(億円)

■ 財政調整基金

■ 特定目的基金(一般・特会)

※平時と異なる財政状況となったコロナ禍より前のR1からの推移

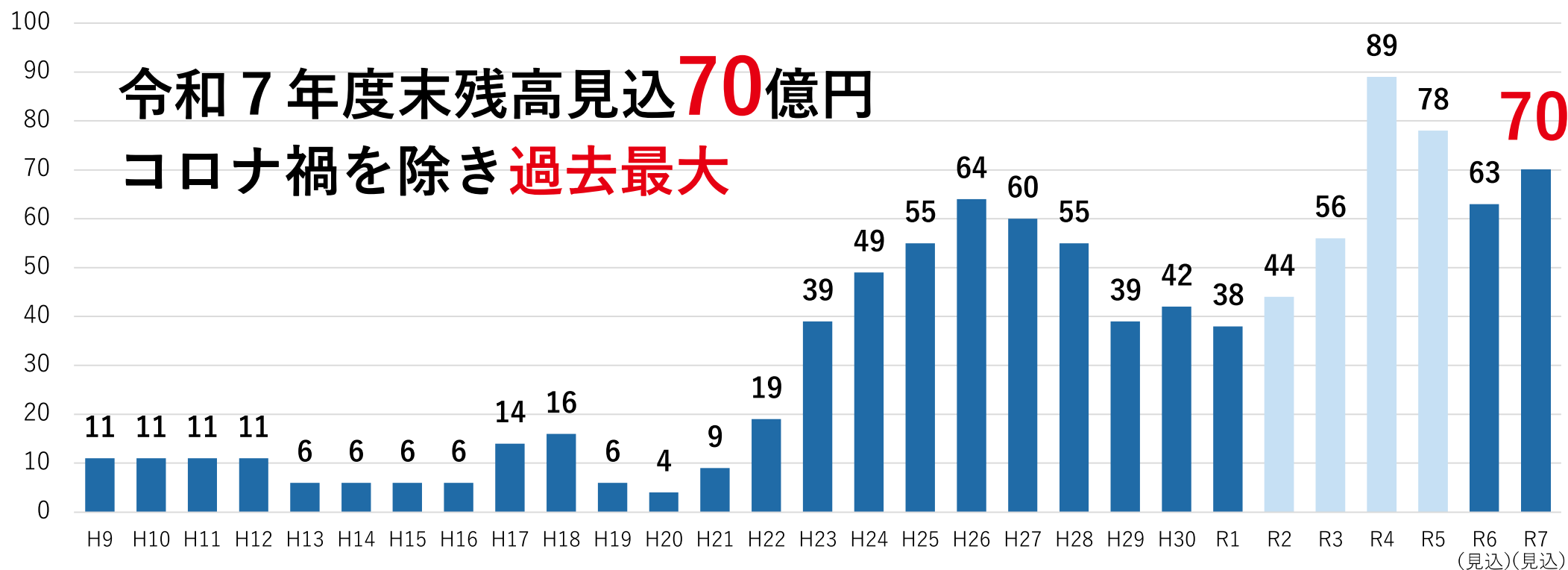


財政調整基金の推移

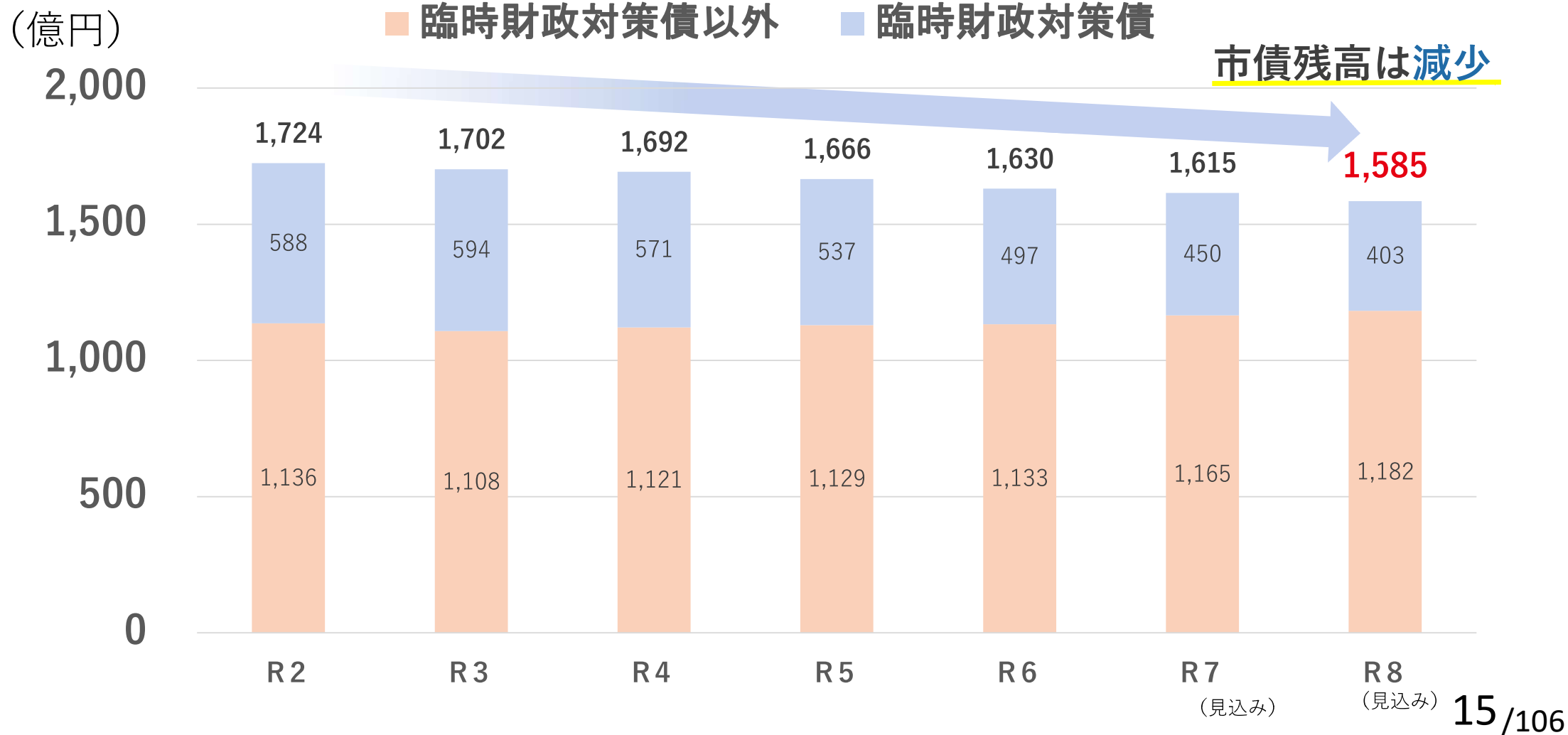


(億円)

財政調整基金残高



市債残高の推移



基金残高と市債残高の状況



基金残高（財政調整基金と特定目的基金の合計）

令和2年度末

令和8年度末
見込

約**78**億円 → 約**110**億円 → 約**32**億円**UP**

市債残高

令和2年度末

令和8年度末
見込

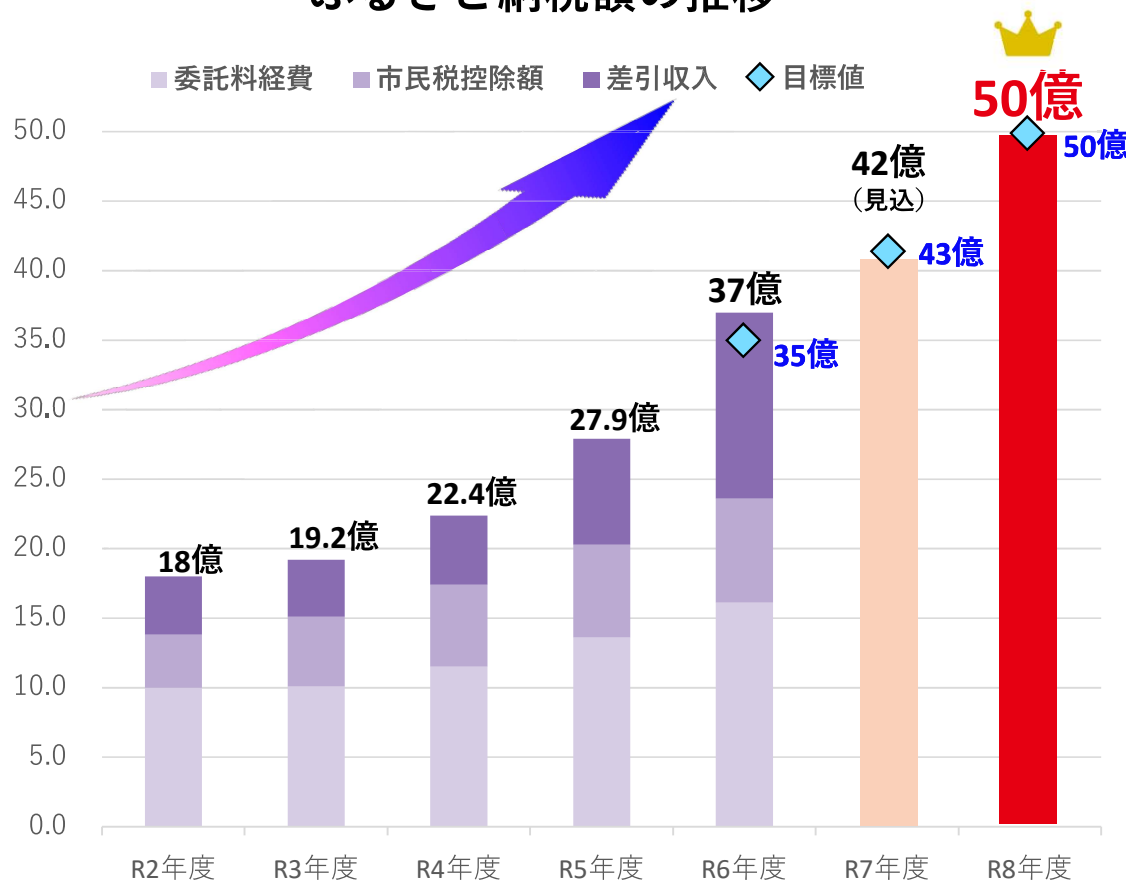
約**1,724**億円 → 約**1,585**億円 → 約**139**億円**DOWN**

約**171**億円の**改善**

自主財源の確保－ふるさと納税の強化－



－ふるさと納税額の推移－



目標額に向けて着実に寄付額が増加！

●新規ポータルサイトの活用

○OG-Callふるさと納税

クラブカード会員からの寄附獲得へ

○一休.com

宿泊クーポンを返礼品とすることで、観光客増にも！

●返礼品やPRの強化

需要に合わせて返礼品をブラッシュアップ！

新広告や積極的な道外イベント出店など、これまで以上に全国へ旭川市の魅力をPR

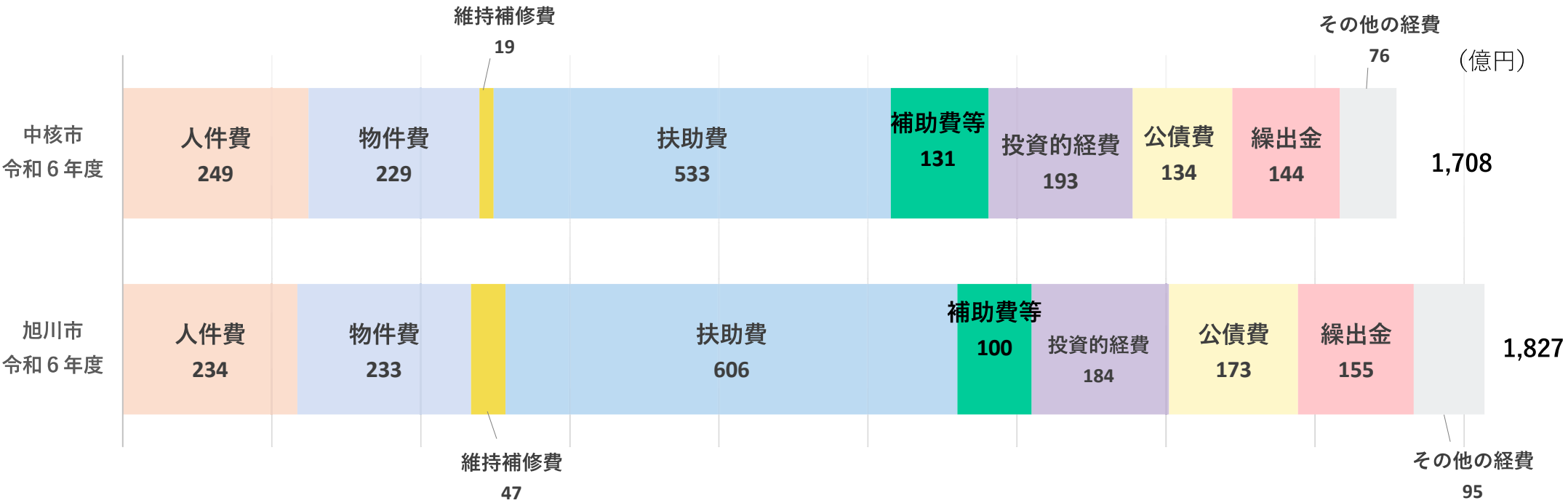
⇒旭川のファンを増やす！



令和8年度の目標額

50億円

経費別（普通会計）の中核市との比較



	人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	投資的経費	公債費	繰出金	その他の経費	合計
中核市 令和6年度	249億 500万円	228億3,000万円	19億1,800万円	533億1,600万円	131億2,800万円	192億3,000万円	133億9,600万円	144億2,800万円	76億 900万円	1,707億6,000万円
旭川市 令和6年度	234億1,900万円	232億9,700万円	46億5,200万円	606億3,400万円	99億7,200万円	184億4,500万円	173億1,400万円	155億2,400万円	94億8,800万円	1,827億4,500万円
乖離額	▲14億8,600万円	4億6,700万円	27億3,400万円	73億1,800万円	▲31億5,600万円	▲7億8,500万円	39億1,800万円	10億9,600万円	18億7,900万円	119億8,500万円

基金の運用

基金の安全で有利な運用を検討

(例) 債券購入

5年国債、運用額5億円の場合

▶ 運用利益**4,000万円**

※R8.2現在

1 期目の予算

令和 4 年度

新市政スタート予算

挑戦や失敗を恐れず「新しい旭川」へ

令和 5 年度

旭川再起動予算

持続可能な新たな100年に向けての挑戦

令和 6 年度

旭川新時代・創造予算

旭川の力を発揮するための新たな挑戦

令和 7 年度

暮らしの安心と未来への投資両立予算

将来負担の軽減と未来に向けた投資の推進



令和7年9月旭川市長選挙

1期目4年間

80%以上の方から評価

(得票率71.2%)

北海道新聞社調べ

市長就任以降、挑戦を続け

「旭川が楽しい街になった」



「子育てがしやすくなった」

「市の取組が分かりやすくなった」

といった声が聞こえるように



重責に身の引き締まる思い

私に求められていることは

前例にとらわれず
失敗を恐れず
挑戦を続けること



次なる挑戦！
旭川の未来を拓く

新公約100項目



令和 8 年度

Beyond

あさひかわ 予算



令和 8 年度予算案の概要 – 主要 10 項目 –

